

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	40,000,000	34,744,625	5,255,375	38,923,200	
	自主事業収入	4,000,000	6,007,680	-2,007,680	5,862,860	
	物品販売収入	1,000,000	697,678	302,322	689,449	
	指定管理料	67,000,000	71,820,435	-4,820,435	67,000,000	
	その他収入	0	1,820,799	-1,820,799	3,724,692	
	収入総額	112,000,000	115,091,217	-3,091,217	116,200,201	
支出	人件費	37,800,000	31,052,620	6,747,380	34,132,217	
	事務費	2,700,000	2,253,071	446,929	2,513,257	
	管理費	39,000,000	44,171,249	-5,171,249	45,644,336	
	自主事業経費	4,200,000	6,351,637	-2,151,637	4,374,042	
	光熱水費	20,000,000	18,158,520	1,841,480	18,293,300	
	リース料	700,000	462,108	237,892	430,272	
	その他	6,180,000	10,283,929	-4,103,929	8,044,333	
	支出総額	110,580,000	112,733,134	-2,153,134	113,431,757	0
収支差額	1,420,000	2,358,083	-938,083	2,768,444	0	

3. 総合評価

自己評価 94点

指定管理業務がスタートして3年目。今年度は寺ヶ池庭球場のフェンス工事、駐車場有料化及びコロナの影響で、利用料収入は未達に終わる。

(1) 収支面に関して

収入総額について、昨年と比べ約110万減。理由は、寺ヶ池庭球場のフェンス工事の為、1/10～3/24まで利用できなかったことから約50万減。寺ヶ池プールは稼働日数5日短縮の為、約25万減。コロナウイルス感染拡大防止対策により、2月中旬より自主事業(サッカースクール)開催の自粛により約50万減が大きな減収の要因となった。支出については、人件費で約300万の削減。このことについては、1名退職したことによる削減となるが、今までに行ってきたマルチスタッフの対応が徐々に成果としてあらわれ、効率的に人員を配置することができている。支出総額については、結果的に昨年と比べ約70万おさえることができた。また、効率的な人員配置や光熱費の削減といった日々のきめ細かな対応について、今後も引き続き継続していきます。

(2) 自主事業について

- ①下里人工芝球技場及び下里総合運動場の駐車場有料化に伴う利用者負担の軽減を目的としたセブンイレブン移動販売を実施。
- ②体育館では、自分自身の身体を把握することで、今後のトレーニングに有効活用し、健康で豊かな生活のサポートを目的としたインボディ測定会の実施。
- ③SSKスペシャルサッカースクール(4・5・6年生)が好評で、定員一杯となり、一時会員募集を中止した。そのため、次年度はクラスを追加し、スペシャルサッカースクール(5・6年生)、フレスベリアルサッカースクール(3・4年生)の2クラス制としてスタートします。
- ④ノルディックウォーキング講習会(寺ヶ池公園) 春:3回で18名、秋:2回で11名が参加されました。
- ⑤少年野球教室を開催 8月 52名が参加されました。
- ⑥ランニング講習会(3/14)を予定しておりましたが、コロナウイルス感染拡大防止により中止となりました。

(3) 第3者業務委託(施設管理・防災・防犯・電気・清掃・警備等)に関して

体育館事務所と連携を密にし、利用者の安全管理に気を配り、施設の清掃、警備、巡回、整備、危険箇所・修理箇所の把握、情報収集に努めています。

(4) 事故・苦情、要望等の対応

体育館では救急搬送を依頼したのが3名。(骨折1名、意識が無くなり倒れる1名、気分が悪くなる1名)スタッフや関係者の迅速かつ適切な応急処置で問題なく対応できております。利用者や市役所からの各施設の不具合、修理面の苦情・要望は出来る限り迅速に当方の熟練スタッフで対応しております。費用の掛かりそうな案件は業者の見積もりをとり、市に相談し対応。

(5) コロナ禍での業務

全施設が閉鎖されている時しかできない業務を行いました。3月度業務報告書に記載。(特に3月は体育館内、寺ヶ池野球場の清掃、補修、修理、整備)

(6) 次年度への課題

- ①次年度以降は、大きな修繕費が掛かる見込みです。施設の老朽化に伴う修理・交換。赤峰市民広場ではナイター設備。カードタイマーの設備更新・分電盤の交換(共に製造から30年経過)。公園遊具の老朽化で撤去が必要(すべり台、鉄棒)。体育館はリニューアルから20年。空調設備が頻りに不具合が発生。ただし、交換部品が底を突き、綱渡り状態。寺ヶ池プールはシャワーのセンサー設備も頻りに不具合が発生。体育館アリーナは利用者から空調設備を熱望されています(熱中症対策)。
- ②駐車場料金が利用者がどう判断するか? 受益者負担と思ってもらえるように、施設メンテの維持、サービスの向上、等が指定管理者として重要となってきます。
- ③引き続き、市⇄指定管理者⇄振興会との連携を密にし、河内長野のスポーツ振興に取り組む。また、コロナウイルスと共存していくために3者と利用者の協力体制も重要となります。

令和元年度は、河内長野市SSKクリーン工房共同事業体による指定管理業務が3年目となり、前年度に引き続き窓口の受付時間の延長や、トレーニング専任スタッフの常駐、自主事業のさらなる充実等、利用者の利便性向上や市内スポーツ施設のイメージアップにつながる取り組みを数多くしてもらい、大きく評価している。

特に令和元年度は、大師総合運動場・市民総合体育館・下里運動公園人工芝球技場・下里総合運動場の駐車場有料化に際し、利用者に対する説明等、様々な対応に尽力してもらった。また、2/4からの有料化開始以降は利用者が従前どおりに、スムーズに各施設を利用できるように、的確に駐車料金割引処理の説明をする等、円滑な窓口対応を実施してくれた。

さらに、2月以降の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館・休場措置についても、柔軟かつ迅速に対応してもらい、非常に感謝している。

休館・休場中は、平常時にメンテナンスがしにくかった箇所(卓球場やアリーナ観覧席の床面等)の重点的な清掃や修繕作業をしてもらい、今後の利用者満足度の向上に努めてくれた。

日常の修繕・管理についても、営繕担当職員を中心に指定管理者全スタッフの創意工夫により、正確かつ丁寧に対応してもらった。

今後も新型コロナウイルス感染症予防対策をしながらの施設管理運営は続くと思われるが、対応方針について市と情報共有を図っていきながら、民間企業のノウハウを活かした、効率的な施設運営をしてもらうことを期待する。